

新年のご挨拶

新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお祈りいたします。

COVID19の世界的パンデミックの中で東京オリンピックが開催できた2021年もおわり、新たな一年を迎えます。コロナウイルスとともに生きる時代の終息を願うこの頃です。

今年の活動報告です。

1. 総会は COVID19 により、2021 年度は開催しませんでした。一方、地方会の開催はできました。
2. ロータの施設基準改定により、約 200 施設増加しました。
3. PFO 協議会を CVIT 主幹で 3 学会合同にて開催しております。安定した運用を継続しております。
4. CVIT-TV を毎週開催しております。教育的な内容を配信しております。
5. レジストリーからの論文が多数刊行されています。
6. CVIT ジャーナルの仮想インパクトファクターは上昇し、あと少しで正式なものが取れるところまで来ております。
7. 2022 年の保険改定に向けて、保険委員会は外保連、厚労省に対し文書で手技料増点の活動をしました。
8. コメディカル委員会では、働き方改革に向けてコメディカルの PCI への参画を促す方針で進めています。

今年の抱負

今年は選挙年となります。定款通りでは理事の定数がおかしくなってしまうという矛盾があったために、私が理事長になって初年度のうちに、選挙制度改革を行い、理事会及び代議員総会で承認をいただいております。理事の皆様で知恵をしばって現在の CVIT の体制を維持し、さらに発展できるようにしましたが、その第一回の選挙が今回となります。1) 理事の定数：各地区に 1 配分した後で、その残数をドント方式で割り振ることとしました。2021 年 9 月末の会員数で照らし合わせると各地区現在と同数になりました。2) 代議員：代議員数は会員数の 4% という点に変更はありませんが、会員数が増加しているため、代議員数は各地区増加しております。今回の変更は女性の代議員数を女性の会員数の割合に応じて決定すること。各県からの代議員は必ず入れること。そのうえで選挙の得票数順で当選を決定することとしました。3) 理事長：従来と変わらず、代議員の選挙で選ばれます。マニフェストを検討しふさわしい方を選んでください。

選挙を WEB 投票で行うため、どうしても会場へ来ることができない方もマニフェスト演説を WEB で聞いて、オンラインで理事長の投票に参加することが可能となります。

ISCHEMIA 試験以後、慢性冠動脈疾患の診断と治療が曲がり角に来ている実感があります。しかし、虚血性心疾患は人類の単独死亡原因の第一位であり、私たちの PCI は重要な治療であります。この曲がり角をうまく乗り切った先にはさらなる発展がありますので、若い方にとってはチャンスの時期といってもよいのではないのでしょうか。

今年の抱負を述べさせていただきました。CVIT すべての会員の健康とカテーテル治療の成功をお祈りしております。

令和4年元旦

一般社団法人

日本心血管インターベンション治療学会

理事長 伊 苜 裕 二